

5 福薬業発第 109 号
令和 5 年 6 月 1 日

各地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人 福岡県薬剤師会
常務理事 濱 寛

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」実施に係る協力について（依頼）

平素より本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福岡県後期高齢者医療広域連合より標記事業について別添のとおり協力依頼の連絡がありましたのでお知らせいたします。

本事業は令和 2 年度より開始され、本年度新規実施予定の 6 市町村を加え 50 市町村までに拡大されています。また、令和 6 年度からは全市町村で実施予定となっています。

本事業の会員への周知並びに市町村・関係団体等より地区薬剤師会へ具体的な相談があった際には、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

ご多忙中のところ大変恐縮ですが、ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

公益社団法人福岡県薬剤師会
会 長 原 口 亨 様

福岡県後期高齢者医療広域連合
広域連合長 月形 祐二



「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」実施に係る協力について（依頼）

平素より当広域連合の事業に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当広域連合では、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進を図るため、令和 2 年度から標記事業を実施しており、令和 5 年度は県内 5 0 市町村が実施しております。

つきましては、下記のとおり、貴会員への周知や、各市町村から各地区薬剤師会に対して具体的な相談があった際の対応・協力等について、御高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1 事業概要

別紙 1 のとおり

2 市町村における取組状況

別紙 2・3 のとおり

3 依頼内容

- ① 貴会員への周知
- ② 事業実施市町村の取組への助言や連携（市町村から相談があった場合）
 - ・ 事業の企画や評価等、事業全体に対する助言
 - ・ 事業対象者の抽出基準や効果的な実施内容等に関する助言
（主に服薬等に関する取組）
- ③ 個別ケース支援にかかる、保健指導への助言、「訪問服薬指導」との協働 等

《お問合せ先》

福岡県福岡市博多区千代四丁目 1-27 福岡県自治会館 5 階
福岡県後期高齢者医療広域連合
健康企画課健康企画係 永尾・満江・河野
電話 092-707-3029
FAX 092-651-3120
メール tekisei@fukuoka-kouki.jp

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について①

別紙 1

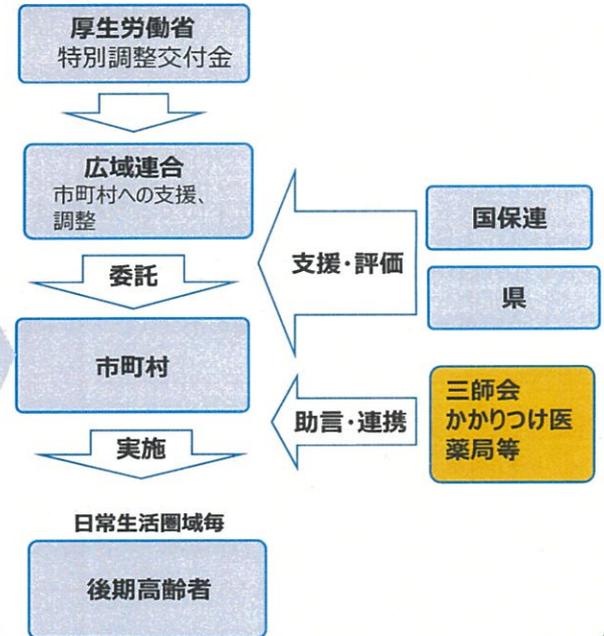
【事業目的】

市町村の国保部署と介護部署等が連携し、保健指導等の保健事業と通いの場等の介護予防を一体的に実施することで、高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな支援を行うもの。
(令和2年度事業開始)

【事業内容】

- ① 高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）
 - ア 低栄養防止・重症化予防の取組
 - イ 重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組
 - ウ 健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続
- ② 通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）
 - ア フレイル予防の普及啓発、運動・栄養・口腔等の健康教育・健康相談
 - イ フレイル状態にある高齢者等を把握し、保健指導等の実施
 - ウ 気軽に相談が行える環境づくり

【実施体制】



高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について②

【主な事業の効果】

実施市町村数の推移：（R2）19市町村、（R3）37市町村、（R4）44市町村、（R5）50市町村予定、（R6）全60市町村予定

健康診査受診率

健康診査受診率	R1	R2	R3	R1→R3 との比較
R2開始市町村	10.6%	11.1%	13.2%	2.6%
R3開始市町村	8.8%	9.0%	10.7%	1.9%
未実施市町村	10.0%	10.2%	11.7%	1.7%
福岡県	9.8%	10.0%	11.8%	2.0%

歯科健診受診率

歯科健診受診率	R1	R2	R3	R1→R3 との比較
R2開始市町村	8.3%	7.5%	6.3%	-2.1%
R3開始市町村	7.0%	7.6%	6.0%	-1.0%
未実施市町村	7.6%	7.4%	5.1%	-2.4%
福岡県	7.6%	7.5%	6.0%	-1.7%

健康状態不明者の割合

健康状態不明者	R1	R2	R3	R1→R3 との比較
R2開始市町村	4.6%	5.1%	5.5%	0.9%
R3開始市町村	5.1%	5.7%	6.0%	0.9%
未実施市町村	5.3%	5.8%	6.1%	0.8%
福岡県	4.9%	5.5%	5.8%	0.9%

人工透析患者数（一万対被保者数） （R1とR3の比較）

人工透析患者 （一万対被保者数）	R1	R2	R3	R1→R3 との比較
R2開始市町村	131.09人	136.52人	131.11人	0.02人
R3開始市町村	125.88人	128.41人	126.65人	0.77人
未実施市町村	129.25人	132.44人	133.67人	4.42人
福岡県	128.53人	132.32人	129.60人	0.11人

【実施市町村の主な意見】

- ・75歳で途切れていた支援が継続してできるようになった。
- ・未治療者や治療中断者の受診につながった。
- ・健康診査の検査値が維持改善できた。
- ・運動機能の向上や適正体重に近づける等の改善がみられた。
- ・フレイルリスクや健康状態不明者の状況を把握できた。
- ・多職種で関わり、異なる視点でアセスメントできた。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について③

1. 現状

服薬指導については、薬剤・処方に関する知識が必要であり、服薬指導や重複多剤等に取り組む市町村が少ない。

2. 課題

- ・高齢者は、認知機能の低下による飲み間違いや、複数の慢性疾患を有するため、薬剤の過剰投与や薬物有害反応リスクが上昇するおそれがある。
- ・介護が必要となる原因は、骨折・転倒が多いため、転倒リスクを下げるための服薬指導が課題。
- ・転倒・骨折リスクが高い睡眠薬等の薬剤の有害事象に着目した取組は、薬剤の専門知識や抽出システムなど抽出方法の限界もあるが、県内高齢者の4人に1人が睡眠薬を使用しており、今後取り組む必要があると考える。

3. 対策

対象者の抽出や服薬指導について、訪問服薬指導事業との連携や広域連合が委託する業者から重複投薬者への通知等、関係団体の協力を得ながら適正服薬に向けた市町村の取組をすすめる。

福岡県後期高齢者医療広域連合

備考	No.	市町村名	担当部署	①高齢者に対する個別支援 (ハイリスクアプローチ)							②通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)					事業開始時期
				取組区分							取組区分					
				低栄養	口腔機能	廃業	糖尿病性腎症重症化予防事業	生活習慣病重症化予防	重複・併発受診等	健康状態不明者対策	その他	健康教育・健康相談	フレイル状態の把握	地域に積極的に行える取組づくり	複合	
	1	北九州市	保健福祉局 健康医療部 健康推進課	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	4月
	2	福岡市	保健福祉局生活福祉部保険医療課	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	4月
	3	久留米市	保健所 地域保健課	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	4	直方市	健康長寿課 健康推進係	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	4月
新規	5	田川市	市民課 保険係	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	○	4月
	6	柳川市	健康づくり課 健康係	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	4月
	7	八女市	健康推進課 保健指導係	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	8	筑後市	健康づくり課	○	-	-	○	○	○	○	-	○	○	-	-	4月
新規	9	大川市	健康課 高齢者支援係	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	4月
	10	行橋市	地域福祉課 健康づくり推進係	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	11	豊前市	市民課 医療保険係	○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
	12	中間市	健康増進課 国保医療係	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	4月
	13	小郡市	国保年金課医療 年金係	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	4月
	14	筑紫野市	健康推進課 健康推進担当	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	4月
	15	春日市	健康スポーツ課 健康づくり担当	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	16	大野城市	すこやか長寿課 健康長寿担当	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	4月
	17	宗像市	健康課 健康サポート係	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	4月
	18	太宰府市	元気づくり課 健康推進係	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	19	古賀市	健康介護課 健康づくり係	○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
	20	福津市	いきいき健康課 健康づくり係	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	4月
	21	宮石市	健康福祉課 健康対策係	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	22	嘉麻市	市民課 医療保健係	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	4月
	23	朝倉市	健康課 健康増進係	○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
	24	みやま市	健康づくり課 健康係	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	4月
	25	糸島市	健康づくり課 健康推進係	○	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
	26	那珂川市	健康課 健康推進担当	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	○	4月
	27	宇美町	健康福祉課 健康長寿係	-	-	-	○	○	○	○	-	○	○	-	-	4月
新規	28	篠栗町	健康課 健康づくり係	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	4月
新規	29	芦屋町	健康・こども課 健康づくり係	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	4月
	30	遠賀町	健康こども課 健康対策係	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	4月
新規	31	小竹町	健康増進課 健康対策係	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	4月
	32	鞍手町	保険健康課 健康増進係	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
新規	33	桂川町	健康福祉課	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	4月
	34	筑前町	健康課 健康推進係	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	4月
	35	東峰村	保健福祉課 医療保健係	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	4月
	36	大刀洗町	健康課 健康支援係	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
	37	大木町	健康福祉課 健康長寿グループ	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	-	-	4月
	38	広川町	住民課 健康係	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	39	香春町	保険健康課 健康づくり係	○	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	4月
新規	40	添田町	保健福祉環境課 健康対策係	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	4月
	41	糸田町	健康福祉課 保健衛生係	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	4月
	42	川崎町	健康づくり課 健康促進係	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	43	大任町	住民課 衛生係	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	4月
	44	赤村	住民課 健康増進係	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	4月
		合計		16	2	0	29	36	3	34	3	26	19	1	18	

【令和5年度新規開始予定】高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（令和5年1月時点）

市町村名	企画・調整担当者 担当部署	①高齢者に対する個別支援 (ハイリスクアプローチ)								②通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)			
		取組区分								取組区分			
		低栄養	口腔機能	服薬	糖尿病性腎症重症化予防事業	生活習慣病重症化予防	重複・頻回受診等	健康状態不明者対策	その他	ア.健康教育・健康相談	イ.フレイル状態の把握	ウ.気軽に相談が行える環境づくり	その他総合的取組
新 飯塚市	健康保健課	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
新 須恵町	健康増進課	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
新 新宮町	健康福祉課	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
新 粕屋町	健康づくり課	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
新 水巻町	健康課健康推進係	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-
新 みやこ町	保険福祉課	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○

※R5年度から新たに取組むのは6市町村（R5年1月時点の状況であり、変更の可能性あり）

福岡県後期高齢者医療広域連合

後期高齢者健康診査のご案内

健診は1年に1回、からだをチェックする機会です。
持病の重症化を予防し、フレイル（加齢により心や
身体が弱っている状態）の芽をつみとりましょう。



- 後期高齢者医療の被保険者の方は、500円で受診できます。
（通常約9,000円の検査が500円になります。）
- **令和5年4月1日より、血液検査の血清アルブミンと貧血検査が追加となりました。**
〔 認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクを高める低栄養状態と貧血の
早期発見につながります。 〕
- 必要時にはかかりつけ医の指示のもと、市町村の保健師や栄養士による保健指導やフレイルの相談を受けることができます。



健康診査を受けるには・・・



- ※ 健康診査の受診票は、福岡県後期高齢者医療広域連合から対象者の方に送付しております。（長期入院及び一部の施設入所中の方は除きます。）
- ※ 健康診査を受診する時は、「被保険者証」「受診票」「500円」が必要です。

【問合せ先】 福岡県後期高齢者医療広域連合 お問い合わせセンター
福岡市博多区千代4丁目1番27号 TEL 092-651-3111

健康診査でわかること



項目

ポイント

問診	「後期高齢者の質問票」 質問票でフレイルの危険性を確認できます。
身長・体重	「肥満より、やせに注意」 やせはフレイルをまねきます。
栄養・貧血 ●血清アルブミン ●ヘマクリット値 ●血色素量 ●赤血球数	「低栄養や貧血に注意」 低栄養や貧血は、身体的活動を低下させ、認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクが高まります。
血圧・脂質 ●コレステロール ●中性脂肪	「脳卒中や心筋梗塞の危険性」 高血圧や脂質異常は動脈硬化につながり、脳卒中や心筋梗塞などをまねきます。
糖 ●空腹時 ●HbA1c ●尿糖	「糖尿病の重症化に注意」 糖尿病の危険度を調べます。 血糖が高いと糖尿病のおそれがあります。
肝機能 ●AST ●ALT ●γGTP	「お酒だけでなく、薬の副作用の可能性も」 肝臓の機能をチェックします。たくさんの薬の服薬による副作用で、肝臓に負担がかかります。飲酒しない人も注意が必要です。
腎機能 ●クレアチニン値 ●尿蛋白 ●尿酸	「最悪の場合、人工透析に」 腎臓の機能をチェックします。 糖尿病や高血圧の人は特に注意が必要です。

後期高齢者健康診査では、フレイルリスクを確認できます。

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 6ヶ月間で、2～3Kg以上の体重減少がありましたか |
| <input type="checkbox"/> | 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか |
| <input type="checkbox"/> | この1年間に転んだことがありますか |
| <input type="checkbox"/> | ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか |
| <input type="checkbox"/> | 週に1回以上は外出していますか |

チェックしてみましょう

フレイルに関する項目です。
フレイルの可能性のある人も早期に対応することで、元の状態に戻れます。

「後期高齢者健康診査質問票」より一部抜粋



発熱時や体調不良時は、健康診査の受診はお控えください。